

令和4年5月6日

まちの先生登録者 各位

人間市生涯学習をすすめる市民の会  
会長 渡部直也

令和4年度「まちの先生講座」の開催について（依頼）

日頃よりいるまなびと（生涯学習活動に取り組む入間市民）活性化のための活動にご協力いただき、ありがとうございます。

また昨年度は、多くの皆様に「まちの先生講座」にご参画いただき感謝申し上げます。

さて、人間市生涯学習をすすめる市民の会では、令和4年度も市民が自ら企画・運営する「まちの先生講座」を別紙のとおり開催します。

「まちの先生講座」の開催への参画を希望する方は、1 概要～4 今後の予定までをお読みいただいたうえで、別紙『まちの先生講座企画書』にご記入、ご提出ください。※下記事務局まで5月31日（火）（必着）

※昨年度までの「まちの先生講座」と開催形態が変更されています。

※受講生が開催最小人数に達した講座のみの開催となります

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、講座全体の中止や実施範囲の縮小など大幅な変更の可能性もあります。その際は別途ご連絡いたします。

※一部の公民館はワクチン接種会場となる可能性があるため、借用可能となる公民館数や時間帯が少なくなる可能性があります。

#### 【問い合わせ】

人間市生涯学習をすすめる市民の会事務局

人間市教育委員会社会教育課 担当：片寄

電話：04-2964-1111(内線 4124) FAX：04-2964-2863

MAIL：ir815000@city.iruma.lg.jp

**いるまなびとサイト (<https://irumanabito.net>)**

入間市内の学び情報を発信するサイトを公開しています。  
新しく何か学びたい 学んだことを伝えたい 市民の皆さん  
のご要望に応えます。

まちの先生講座や各種イベントの情報を掲載しています。  
まちの先生ページもありますので、ぜひ一度ご覧ください。



## 1. 概要

「まちの先生講座」は、まちの先生・受講生・市民の会が協働で開催する手作りの講座です。講座の内容やタイトルは、まちの先生が自由に設定できます。

開催 11 年目となる今年度は、過去 10 年間の成果と課題をふまえ、講座の開催条件を変更いたします。※2. 変更点を参照ください。

開催時期	2022年10月初旬～2023年2月末の月曜～金曜 (応相談)
講座開催時間 (前後に準備・片付けの時間あり)	午前(10時～11時30分) 午後①(13時30分～15時00分) 午後②(15時30分～17時00分)(応相談) ※事務局で決定。会場により時間が前後する場合あり。 可能な限り開催時間の1時間前から会場を予約。
講座会場	① 会議室 (事務局が指定する公民館、市民活動センター、 その他公共施設) ② その他(公共施設以外で実施、オンライン講座を含む)
1コマの長さ	90分間 ※同じ内容を複数回行うのは不可 ※全コマをもって1コースの講座となるもの ※2コマ連続の開催は可能(応相談)
コマ数等	最小6～最大10コマ 月1～3回
受講生定員 最少・最大開催 人数	最少開催人員3名、最大については講師が設定。 <u>受講申込者数が3名未満の場合は開講しません。</u>
講座準備、受 付、 集金等	まちの先生自身が行う。またはまちの先生同士で助け合う。 ※スタッフが必要な方(応相談)
講座運営	当日の会場設営から片付けまで講座の運営全般を まちの先生が行う。 ※講座開始日の10日前までに事務局から郵送する「まちの先生講座マニュアル」を読み、必要事項を確認してください。
事前準備 機材の使用等	機材(PC、プロジェクター等)を借用する場合： 講座開始日までに社会教育課で受取り、講座終了後に返却。 ※講座実施会場で借用できる場合もあります。 ※器材の設置等はまちの先生がご自身で行ってください。 ※機材の使用方法については、事前研修/相談会を設けます。 (9月予定)

## 2. 変更点 ※経年講師の方は特にご確認ください

【別紙 交流会資料「まちの先生講座 10年間のまとめより」参照】

期間、回数の規定：1講座（コース）を3カ月または6コマ以上で実施します。  
開催には以下3つの方法があります。

- ① まちの先生が1人で上記期間の単一講座を実施
- ② まちの先生同士が協力して上記期間の講座を実施（統一のテーマでコラボ）
- ③ 市民の会が提案するコラボ講座で他の先生と協働で講座を実施

## 3. まちの先生に決めていただく事項

※別紙の講座企画書にご記入ください。

① 単独での開催または、コラボでの開催

② 講座のタイトル

枠内にできるだけ簡潔に、かつ、チラシを目にした方が興味を持つようなタイトルをご検討ください。

③ 講座の概要

④ 講座形態

⑤ 講座回数

6～10回程度、受講生は入れ替らないので同じ内容の繰返しは不可。

全コマをもって1講座となるものとします。（コラボ講座ではテーマを統一）

⑥ 参加費（講師謝礼）の有無

原則として参加費（講師謝礼）は、参加者1人1コマ500円以下とします「参加費なし」、「全コマ（複数コマ）で500円」でも結構です。

⑦ 材料費、コピー代、資料代、傷害保険料の有無

有りの場合の金額

※実際の材料費の他にコピー代、資料代、傷害保険料を含むことができます。

コピーは白黒にするなどできるだけ安価になるよう工夫してください。

講座を市の施設以外で開催する場合には、講師も含め傷害保険に加入して

いただきます。保険料は、1日につき33人以下1,000円（全員まとめた金額です。1人1,000円ではありません）となりますので、最少開催人員も勘案のうえ参加者負担として設定してください。

⑧ 参加者負担金額

⑥の参加費（講師謝礼）と⑦の材料費等の合計 = 参加者が負担する金額の合計

※参加者の上記負担金は、講座初日に講師が集金します。

なお、オンライン講座の場合は、集金手順につき、別途ご相談ください。

⑨ 受講対象者

年齢等の制限があればご記入ください。

⑩ 最大定員数

⑪ 講座参加者の持ち物

⑫ 借用を希望する機材（プロジェクター等）

⑬ 都合の悪い曜日・時間帯

⑭ 講師が使用する予定の交通手段について

## 4. 今後の予定

5月 : まちの先生講座への参画確認（この通知）

5月末 : 企画書提出：5月31日（火）（必着）

6月～9月 : 講師向け情報交換会（オンライン）

※オンライン Zoom 会議で先生同士が気軽に情報交換する場を提供予定。具体的な内容、日程などは別途メールで連絡。

7月8日（金） : 「まちの先生講座連絡会」を開催（開催日時や内容等の調整）

7月13日（水） : 講座内容確定（広報原稿提出締切日）

8月 : 募集チラシ作成

9月 : 受講生募集（広報いるま9月号に掲載、公民館等へチラシ配布）

9月 : 「まちの先生研修会」を開催予定

10月初旬～ : 講座の実施

※受講申込状況により、講座実施の有無を判断（9月末ごろ）

※参画を希望される場合は、7月の「まちの先生講座連絡会」及び9月の「まちの先生研修会」にご出席をお願いします。

**まちの先生講座企画書**

① 氏名 \_\_\_\_\_

※他の講師とコラボ企画の場合は、相手の講師氏名 \_\_\_\_\_ 氏名

相手の講師氏名 \_\_\_\_\_ 氏名

(代表の講師がこの企画書を提出してください)

(ちらし掲載時に希望する名があればこちらにご記入下さい \_\_\_\_\_)

② 講座タイトル (24文字以内)

③ 講座概要 (84文字以内)

④ 講座形態

会議室 (公共施設) ・ オンライン ・ その他 ( \_\_\_\_\_ )

⑤ 講座回数 ※1コマ90分間

全6コマ ・ 全7コマ ・ 全8コマ ・ 全9コマ ・  
全10コマ

※他の講師と合同企画とする場合

( \_\_\_\_\_ ) コマ目担当講師名 ( \_\_\_\_\_ )

( \_\_\_\_\_ ) コマ目担当講師名 ( \_\_\_\_\_ )

⑥ 参加費 (講師謝礼) の有無 (原則、参加者1人1コマ500円以下)

有 (金額 \_\_\_\_\_ 円/毎回・講座通して) ・ 無 \_\_\_\_\_

(裏面あり)

⑦材料費等の有無（材料費・コピー代・資料代・傷害保険料）

材料費 有（金額                      円／毎回・講座通して） ・ 無

コピー代 有（金額                      円／毎回・講座通して） ・ 無

資料代 有（金額                      円／毎回・講座通して） ・ 無

傷害保険料 有（金額                      円／                      コマ目分） ・ 無

⑧⑥参加費（講師謝礼）の合計金額（                      ）円 + ⑥材料費等の  
合計金額（                      ）円 = **参加者負担金額**（                      ）円

⑨受講対象者（一般、〇才以上、女性 など）

⑩ 定員数（最少開講人員に応募者が達しませんが、講座開講はできません）

最少開講人数 3人 ~ 最大人数                    人

⑪講座参加者の持ち物

⑫借用を希望する機材

プロジェクター ・ スクリーン ・ PC ・ マイク

ホワイトボード（ペンを含む） ・ その他（                      ）

⑬都合の悪い曜日・時間帯

⑭講師が使用する予定の交通手段

自家用車 ・ 自家用車以外 [ バイク ・ 自転車 ・ 電車やバス ・ 徒歩 ]